

収入保険の基準収入の算定シミュレーション

収入保険の補てんの基準となる基準収入の試算ができます。

- ・基準収入は、農業者ごとの過去5年間の平均収入（5中5）を基本（過去5年間の青色申告実績がない場合は、実績のある年の平均収入）とし、保険期間の営農計画を考慮して設定します。
- ・その際、保険期間の経営面積を拡大する場合（規模拡大特例）及び過去5年間の収入に上昇傾向がある場合（収入上昇傾向特例）は上方修正します。
- ・なお、保険期間の経営面積を縮小する場合や単収・単価の低い作物へ転換する場合などは、下方修正します。

スタート

Copyright © 2018 全国農業共済組合連合会設立準備委員会 All rights reserved.

[メニュー] シート

次の流れで基準収入の試算を行います。

過去の平均収入を計算する



保険期間の収入見込を計算する



基準収入の試算結果を表示する

【過去の平均収入計算】シート

戻る

○使い方

過去の収入金額を入力してください。入力は2通りある方法のうちどちらかで行ってください。

①単純に過去の収入金額を入力して基準収入を試算する場合

「過去の収入金額」欄に、該当年の収入金額を直接入力してください。（5年分の実績がない場合は、実績のある分だけ入力してください。）

なお、金額を直接入力した場合、「②過去の青色申告決算書等の税務申告書類から基準収入を設定する場合」が使用できなくなりますので、ご注意ください。

②過去の青色申告決算書等の税務申告書類から基準収入を試算する場合

「算出する」ボタンを押してください。ボタンを押すと「販売金額を整理するための補助フォーム」シートに移動しますので、各年の入力をしてください。

※規模拡大特例による基準収入を試算する場合は、過去の経営面積（経営耕地面積）の入力が必要です。

※収入上昇傾向特例による基準収入を試算する場合は、過去5年間の収入金額の入力が必要です。

○過去の収入金額の計算、経営面積の入力

【過去の収入金額】 ↓①で試算する場合 ↓②で試算する場合

過去年	過去の収入金額 【必須入力】	円
平成28年	10,580,000	算出する
平成27年	10,120,000	算出する
平成26年	9,930,000	算出する
平成25年	11,230,000	算出する
平成24年	9,510,000	算出する

【過去の経営面積】

過去年	過去の経営面積 a
平成28年	540.0
平成27年	570.0
平成26年	560.0
平成25年	550.0
平成24年	400.0

過去の平均収入	10,274,000 円
---------	--------------

過去の平均経営面積	524.0 a
-----------	---------

○注意事項

- ・蜂蜜や蜂は、規模拡大特例の対象になりません。
- ・収入上昇傾向特例は、過去5年間の青色申告実績がないと計算されません。
- ・データがない年については、「-」（全角ハイフン）を入力してください。
- ・過去の収入金額、過去の経営面積は平成28年から連続している年数分を計算に利用します。

【販売金額を整理するための補助フォーム】 シート

対象過去年

平成28年

戻る

次へ

○収入金額として申告する販売金額の算出

- ・税務書類をもとに、「収入金額として申告する販売金額」を算出します。
- ・平成28年の青色申告決算書の2ページに記載した内容に沿って入力し、完了したら「次へ」ボタンを押してください。

(単位：円)

青色申告決算書の 収入金額の内訳④	①販売金額	②販売金額から除外 するもの	③販売金額と同等のもの		収入金額として申告 する販売金額 = ① - ② + ③
			数量払	その他	
区分 【必須入力】	合計				
	7,950,000	100,000	2,250,000	300,000	10,400,000
水稲 (うるち)	6,000,000	100,000		300,000	6,200,000
小麦	750,000		2,250,000		3,000,000
キャベツ	1,200,000				1,200,000
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0

[過去の収入金額申告書] シート

対象過去年

平成28年

戻る

次へ

○収入金額の算出

- ・「収入金額」を算出します。
- ・平成28年の青色申告決算書の2ページに記載した内容に沿って入力し、完了したら「次へ」ボタンを押してください。

(単位：円)

青色申告決算書の 収入金額の内訳 ^④	①期首棚卸高 金額	②販売金額	③事業消費金額	④期末棚卸高 金額	収入金額 = ②+③+④-①
	合計				
区分	150,000	10,400,000	100,000	230,000	10,580,000
水稲 (うるち)	150,000	6,200,000		230,000	6,280,000
小麦		3,000,000			3,000,000
キャベツ		1,200,000	100,000		1,300,000
		0			0
		0			0
		0			0
		0			0
		0			0
		0			0
		0			0
		0			0
		0			0
		0			0
		0			0
		0			0

【保険期間の収入見込計算】シート

○経営面積（経営耕地面積）の入力



○農産物の種類、作付面積、単収などの入力

- ・農産物、作付予定面積、見込単収、販売見込単価などを入力して保険期間の収入見込を算出します。
 (注) 簡易な試算のため、期首棚卸金額、期末棚卸金額、事業消費金額については考慮せず、作付予定面積、見込単収、販売見込単価などから保険期間の収入見込を算出します。
- ・見込単収、販売見込単価はご自身の過去3年間の実績を参考に入力してください。
- ・数量払単価は、画面右側の「○平均交付単価表」を参考に入力してください。
- ・規模拡大特例による基準収入を試算する場合は、「○経営面積（経営耕地面積）の入力」欄に、保険期間の経営面積（a）を入力してください。
- ・入力が完了したら「戻る」ボタンを押してください。

保険期間の経営面積
700.0 a

○平均交付単価表（平成29年産～31年産）

対象作物	数量払単価	数量払単価(円/Kg)
小麦	6,890円/60kg	114.8
二条大麦	5,460円/50kg	109.2
六条大麦	5,690円/50kg	113.8
はだか麦	8,190円/60kg	136.5
大豆	9,040円/60kg	150.7
てん菜	7,180円/t	7.2
でん粉原料用ばれいしよ	11,610円/t	11.6
そば	16,840円/45kg	374.2
なたね	9,920円/60kg	165.3

農産物 【必須入力】	保険期間の収穫見込			保険期間の収入見込				
	作付 予定 面積 ① 【必須入力】 a	見込 単収 ② 【必須入力】 Kg/10a	収穫 見込 数量 ③ =①×②/10 Kg	販売 見込 単価 ④ 【必須入力】 円/Kg	販売 見込 金額 ⑤ =③×④ 円	数量払 単価 ⑥ 円/Kg	数量払 見込 金額 ⑦ =③×⑥ 円	収入 見込 ⑧ =⑤+⑦ 円
	合計							
	670.0							11,937,012
水稲（うるち）	400.0	450	18,000	210	3,780,000		0	3,780,000
小麦	105.0	280	2,940	50	147,000	114.8	337,512	484,512
キャベツ	165.0	4,650	76,725	100	7,672,500		0	7,672,500
			0		0		0	0
			0		0		0	0
			0		0		0	0
			0		0		0	0
			0		0		0	0
			0		0		0	0

[基準収入試算結果]シート

戻る

特例を適用しない場合の基準収入	10,274,000 円	詳細を確認する
規模拡大特例を適用した場合の基準収入	11,937,012 円	詳細を確認する
収入上昇傾向特例を適用した場合の基準収入	11,306,072 円	詳細を確認する

【特例を適用しない場合の基準収入の試算】 シート

戻る

○試算結果詳細

過去の平均収入と保険期間の収入見込を比較して、いずれか低い方が基準収入となります。



【規模拡大特例の試算】シート

戻る

○特例の概要

規模拡大特例とは、

- ・保険期間の収入見込が過去の平均収入より大きく、
- ・保険期間の経営面積が、過去の平均経営面積より大きい場合に、
- ・過去の単位面積当たり収入の平均に、保険期間の経営面積の合計を乗じた金額と、保険期間の収入見込を比較していずれか小さい方を基準収入とします。

○試算結果詳細

(1) 基礎データ

【過去の収入金額】

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
9,510,000	11,230,000	9,930,000	10,120,000	10,580,000

円

【過去の経営面積】

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
400.0	550.0	560.0	570.0	540.0

a

【過去の単位面積当たり収入】

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
23,775	20,418	17,732	17,754	19,593

円/a

・過去の単位面積当たり収入は、各年ごとに、収入金額を経営面積で割った値です。

【保険期間の収入見込】

11,937,012

円

【保険期間の経営面積】


700.0

a

(2) 特例の判定


①過去の平均収入より保険期間の収入見込の方が大きいか。

【過去の平均収入】		【保険期間の収入見込】
10,274,000 円	<	11,937,012 円

保険期間の収入見込の方が大きい ⇒ 

②過去の平均経営面積より保険期間の経営面積の方が大きいか。

【過去の平均経営面積】		【保険期間の経営面積】
524.0 a	<	700.0 a

保険期間の経営面積の方が大きい ⇒ 

(3) 過去の平均収入の調整

過去の各年の単位面積当たり収入の平均に、保険期間の経営面積の合計をかけて過去の平均収入を調整します。

$$\begin{array}{l} \text{【過去の単位面積当たり収入の平均】} \\ \boxed{19,854} \text{ 円/a} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{【保険期間の経営面積】} \\ \boxed{700.0} \text{ a} \end{array} = \begin{array}{l} \text{【調整後の過去の平均収入】} \\ \boxed{13,898,122} \text{ 円} \end{array}$$

(4) 規模拡大特例による基準収入の算出

調整後の過去の平均収入と、保険期間の収入見込を比較して、いずれか低い方が基準収入となります。

$$\begin{array}{l} \text{【調整後の過去の平均収入】} \\ \boxed{13,898,122} \text{ 円} \end{array} > \begin{array}{l} \text{【保険期間の収入見込】} \\ \boxed{11,937,012} \text{ 円} \end{array} \Rightarrow \begin{array}{l} \text{【規模拡大特例による基準収入】} \\ \boxed{11,937,012} \text{ 円} \end{array}$$

【収入上昇傾向特例の試算】シート

戻る

○特例の概要

収入上昇傾向特例とは、

- ・保険期間の収入見込が過去5年間の平均収入より大きく、
- ・過去5年間の各年の収入の増減率の平均が1よりも大きい場合に、
- ・過去の5年間の平均収入に、上昇指数（過去5年間の各年の収入の増減率の平均の3乗）を乗じた金額と保険期間の収入見込を比較して、いずれか小さい方を基準収入とします。

○試算結果詳細

（1）基礎データ

【過去の収入金額】

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
9,510,000	11,230,000	9,930,000	10,120,000	10,580,000

円

【保険期間の収入見込】

11,937,012

円

(2) 特例の判定

①過去の平均収入より保険期間の収入見込の方が大きいか。



②過去5年間の各年の収入の増減率（4個）の平均が1よりも大きいか。

増減率は、各年の収入金額をその前年の収入金額と比較した割合

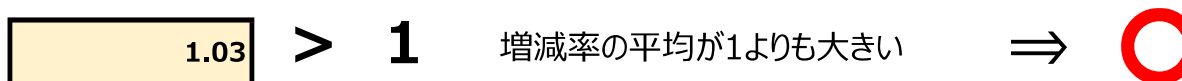
【過去の収入金額】

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
9,510,000	11,230,000	9,930,000	10,120,000	10,580,000

【増減率】

1.18	0.88	1.02	1.05
------	------	------	------

【増減率の平均】



(注) 過去の収入金額に10,000円よりも低い金額を入力した場合は、入力システムの都合上、10,000円として計算しています。
また、増減率の平均が2より大きくなる場合は、入力システムの都合上、2としています。

(3) 過去の平均収入の調整

①増減率の平均を3乗（3回かける）し、上昇指数を算出します。

$$\begin{array}{c} \text{【増減率の平均】} \\ \boxed{1.03} \end{array} \text{ の3乗} = \begin{array}{c} \text{【上昇指数】} \\ \boxed{1.10} \end{array}$$

②過去の平均収入に、上昇指数をかけて過去の平均収入を調整します。

$$\begin{array}{c} \text{【過去の平均収入】} \\ \boxed{10,274,000} \text{円} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{【上昇指数】} \\ \boxed{1.10} \end{array} = \begin{array}{c} \text{【調整後の過去の平均収入】} \\ \boxed{11,306,072} \text{円} \end{array}$$

(4) 収入上昇傾向特例による基準収入の算出

調整後の過去の平均収入と、保険期間の収入見込を比較して、いずれか低い方が基準収入となります。

$$\begin{array}{c} \text{【調整後の過去の平均収入】} \\ \boxed{11,306,072} \text{円} \end{array} < \begin{array}{c} \text{【保険期間の収入見込】} \\ \boxed{11,937,012} \text{円} \end{array} \Rightarrow \begin{array}{c} \text{【収入上昇傾向特例による基準収入】} \\ \boxed{11,306,072} \text{円} \end{array}$$